

1 単元構想

単元名	Unit7 World Heritage Sites (NEW HORIZON English Course 2 P.105~114)		
単元の目標	(1) 受け身の文の形・意味・用法を理解し、ALTや友達に日本にある世界遺産を紹介することができる。 (2) ALTや友達に、日本にある世界遺産を紹介するために、特徴などの情報を整理し、簡単な語句や文を用いて説明することができる。 (3) ALTや友達に、日本にある世界遺産を紹介するために、特徴などの情報を整理し、相手が興味をもつような表現や写真などを用いて説明しようとしている。		
単元の評価規準	知能・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・受け身の文の形・意味・用法を理解している。 ・日本にある世界遺産について、情報や自分の気持ちなどを整理し、受け身の表現などを用いて説明する技能を身に付けている。	・ALTや友達に、「行ってみたい」と思ってもらえるように、日本にある世界遺産について、情報や自分の気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて説明している。	・ALTや友達に、「行ってみたい」と思ってもらえるように、日本にある世界遺産について、情報や自分の気持ちなどを整理し、相手が興味をもつような表現や写真などを用いて説明しようとしている。
単元終了時の生徒の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)			
ALTや友達に、日本に興味をもち、「行ってみたい」と思ってもらえるように、世界遺産や身近な物事についても、情報や自分の気持ちなどを整理してわかりやすく英語で伝えようとする生徒。			
単元を通した学習課題 (単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
ALTの先生や友達に、「行ってみたい」と思うような日本の世界遺産の魅力を、わかりやすく紹介しよう。		聞き手に興味を持ってもらえるような、選択・情報収集・情報整理・発表の仕方について学び、工夫すること。	

2 単元における生徒の実態

学習指導要領における該当箇所 (内容、指導事項等)			
中学校学習指導要領 2 内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文、文構造及び文法事項 (ウ) 文法事項 j 受け身 [思考力、判断力、表現力等] (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ウ 日常的な話題や社会的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 話すこと [発表] (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。			
研究テーマにせまる生徒の学びの実態			
①本単元の学習に関する意識の状況 [非認知能力アンケート結果より]			(／5.00)
調査項目		7月	10月
自己調整学習スキル (学習内容や方法を選択し課題解決する力)		3.75	3.73
粘り強さ (あきらめずに粘り強く取り組む態度)		3.55	3.96
内発的意欲 (主体的に取り組む態度)		3.87	4.20
②考察			
3項目ともに高い値で、10月には、粘り強さと内発的意欲の2項目において数値が向上した。英語に対しては、苦手意識を持っている生徒が多い学年であるが、素直な生徒が多いこともあり、このような結果になったと考えられる。単元を通した課題をいつも意識できるような工夫をしながら「楽しい授業」づくりを目指す。			

3 指導に当たっての留意点 (校内研修の重点事項)

① 楽しい授業づくりの工夫

単元を通した課題 (単元のゴール) を、生徒の興味関心のあるもの、必然性のあるものに設定し、ペアやグループ学習を取り入れ、学び合いをしながらわかることを増やしていく。また、PC やロイロノートを活用して、日頃から、自分の文を書きためておく。

② 終末の工夫

単元を通した課題 (単元のゴール) に向かって、本時の目標に沿った、自分の意見や考えを伝える場面を設定し、書く活動につなげる。

4 本時の学習（9／12）

（1）目標

Jonas 先生（ALT）や友達が「行ってみたい」と思えるような、日本の世界遺産の紹介文を書くことができる。

（2）展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5	1 Jonas 先生からのお願いを聞く。 【チェックタイム】	○ スライドを使い, 友達との春休みの旅行についての話をする。
	3	2 めあて・学習課題の確認をする。 【めあて】Jonas 先生と友達が「行ってみたい」と思えるような日本の世界遺産のプレゼンを作ることができる。 【学習課題】 「行ってみたい」と思うには, どんな内容を入れたらよいだろうか。	
展開	10	3 今まで作成した紹介文に, 付け加える文を考える。【シンキングタイム】 ◇ Jonas 先生に質問してみる ◇ その世界遺産の見どころ ◇ 魅力的な特徴 ◇ 食べ物などの名産品 ◇ 熊本（出発地点）からの行き方	○ 質問をした内容を反映できるような表現を全体で確認する。 ○ 机間指導を行い, 生徒がつまづいている部分の確認を全体で行う。 ○ お手本となるような紹介文ができているグループの表現を取り上げ, 参考になるようにする。 【具体の評価規準】観点【思・判・表】 聞き手に「行ってみたい」と思えるような発表にするために, 紹介文を付け加えている。 【到達していない生徒への手立て】 ○ 机間指導やグループ学習の中で, 自分たちの発表に生かせる表現を取り入れるように促す。
	25	4 グループで, 付け加える文を発表し合い, よりよい内容にする。 【アクションタイム】 【期待される学びの姿】 よりよいプレゼンになるように, 表現や内容を学び合い, 良さを取り入れ改善しようとする姿。	
終末	7	5 本時のまとめ・振り返りをする 【チャレンジタイム】 【まとめ】受け身の表現を用いて書いた世界遺産の紹介文に, 相手意識をもって, その魅力や名産品などを You can see (eat)～ などの既習文を用いて, 付け加えることができた。	○ 本時の発表文をロイロノートで提出させる。 ○ ALT からの感想を伝える